

令和元年度 第4回香美市子ども・子育て会議 会議録要旨

【日 時】令和2年2月18日（火） 18:30～19:20

【場 所】香美市役所 3階会議室

【出席委員】11名

日向会長、武内委員、五藤委員、川越委員、福留委員、前田委員
大石委員、近藤委員、小松委員、川俣委員、福石委員

【欠席委員】4名

酒井委員、森田委員、鎌田委員、嶋村委員

【事務局】13名

時久教育長、公文課長、原班長、宇根係長、
横田主幹、三木主幹、坂本主幹（教育振興課）
宗石課長、濱口班長、山崎係長（健康介護支援課）
岩崎所長、杉原技幹（子育て支援センター）
五百木 麻貴（株ジャパンインターナショナル総合研究所）

【傍聴者】なし

【要 旨】

1. 開会

開会、時久教育長より挨拶。

2. 会議成立報告、資料確認

事務局より会議成立報告、資料確認。

3. 議事

(1) 令和2年度保育所等利用定員について

事務局より〔資料1〕に基づき説明。

(委員) この後のパブリックコメント1に「保育園に入るのが難しいという状況をまず受け止めて対応してほしい」とありますが、今説明していただいた内容との関係を教えてください。

(事務局) 保育園に入るのが難しいというパブリックコメントと、大体入れているという状況に相違があるのではないかというご質問でしょうか。

(委員) 待機児童の可能性があるとということが出てきました。希望していても入れないお子さんはたくさんいらっしゃいますか。

(事務局) 年度当初につきましては大体受け入れられていますが、年度の途中からは難しい場合もありますので、このような意見が出ているのだと思います。

(委員) 年度当初に入る方は、キャパシティとして余裕はありますか。

(事務局) 土佐山田町内については、年齢の低いお子さんのクラスに余裕がありません。

(2) 第2期香美市子ども・子育て支援事業計画に対するパブリックコメントについて

事務局より〔事前資料1〕に基づき説明。

(委員) パブリックコメント2の児童館が欲しいという意見で、土日に上のお子さんを連れて行ける場所としての機能を児童館に希望されているようですが、回答が放課後児童健全育成事業、放課後子ども教室、香美市ファミリー・サポート・センター事業及び地域子育て支援拠点事業等と4つ書かれています。これらは土日に子どもを連れて行けるのでしょうか。

(事務局) ファミリー・サポート・センターは土日も利用できます。

(委員) ファミリー・サポート・センター子どもを預かる事業であり、土日に親子が行ける場所ではありません。

(委員) 親子が無料で遊べる居場所を求めているので、ファミリー・サポート・センターは趣旨が違います。

(事務局) 土日に上のお子さんを連れて行ける場所というご意見に限定していない回答でしたので、内容がずれており申し訳ありません。香美市では児童館を今のところ考えていないので、土日に行けるところとして子育て支援ではこのような取り組みをしたい、との思いで回答しました。

(委員) ご意見を出された方がこの回答を見ると、正対して答えていない印象を受けます。児童館に対する回答と、土日に連れて行ける場所に対する回答を分けて記載した方がよいのではないのでしょうか。

(3) 第2期香美市子ども・子育て支援事業計画(素案)の承認及び概要版の確認について

事務局より〔事前資料2-1〕〔事前資料2-2〕に基づき説明。

(委員) p.30の「外国につながる子どもに関する支援」について、海外からの就労は全国的に増えていると思いますが、人数など香美市のデータはありますか。これに関してはまだデータは存在していないということでしょうか。

(委員) いろいろなパターンがあると思いますが、海外から働きに来られている方や、国際結婚で来られている方もいます。園の方では増加傾向というわけではありませんが、前は特別な感じがしていたけれども、今では当たり前の感覚になりました。

(委員) 高知県内は農業関係の就業者が増えていて、外国語に関する援助など必要になると思いましたので、人数が分かればと思いました。

(事務局) 今のところ資料はないのですが、調べれば分かると思います。ただ、「外国につながる子どもに関する支援」については、計画上は量の見込みと確保方策を設定しなくてもよいので、ここに数値は掲載していません。

(委員) 分かりました。ありがとうございます。

(会長) 第2期香美市子ども・子育て支援事業計画(素案)について、承認していただける方は挙手をお願いします。→全員挙手、承認

(事務局) 今後の軽微な修正に関しましては、事務局及び会長に一任くださいますようお願いいたします。大きな修正がありましたら、委員の皆様にご告知させていただきます。

事務局より第2期香美市子ども・子育て支援事業計画（概要版）に基づき説明。
（委員）追加された「外国につながる子どもに関する支援」「幼児教育・保育利用料の無償化または減免」については掲載しませんか。
（事務局）追加して修正いたします。
（委員）PDCAのサイクル図ですが、Pは右上でいいのでしょうか。事業計画書はひし形のようになっており、Pが上にあるのでPから始まるように見えます。
（事務局）事業計画書と同じような形に修正した方がよろしいでしょうか。
（会長）整合性をとるために、その方がよいと思います。
（事務局）では、事業計画書に揃えるように修正いたします。

（4）その他

（事務局）パブリックコメントに対する回答の修正に関してですが、福石委員からご指摘いただいた、土日に連れて行けるところへの回答については、今後のスケジュールの関係もありますので、事務局と会長に一任していただけるよう承認をお願いします。→承認
（委員）パブリックコメントの回答は、どのような方法で回答しますか。
（事務局）個別に回答するのではなく、香美市のホームページ上に回答を掲載します。
（委員）誰でも見られるということですね。その方がよいと思いましたので、お伺いしました。ありがとうございます。
（委員）保育園の受入れについてのパブリックコメントがありました。施設も古く、建設当時は3歳児を想定していたこともあり、0、1、2歳児の受け入れ人数が限られています。近年、育休明けで仕事に復帰する方が多いので1歳児の利用がととも増えており、受け入れたくとも春の時点でいっぱいになる状況です。0歳児の人口数は緩やかに減少していますが、今の状況だと数年はこのような状態が続くと思いますので、ここを改善するのであれば新たな策が必要です。

4 閉 会